

式 辞

ただ今入学を許可した担い手養成科28名、技術研修科15名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

尾崎 農政水産部長様をはじめ、ご列席の大山農業試験場長様、高橋畜産試験場長様、谷本同窓会長様、大西後援会長様に加え、香川農大の職員一同、在校生とともに皆さんのご入学を歓迎いたします。

また、これまで皆さんを支えてこられた、ご家族や関係の皆さまにも心からお祝いを申し上げます。

本校は、昭和52年の開校以来、農場での生産活動を基本として校内での講義や演習に加えて、先進農家や試験研究機関での見学や実習も数多く取り入れ、「新しい農業の担い手育成」と「農業・農村をけん引することのできるリーダーとなる人材」の育成を目標として取り組んできました。

今、香川県においても第1次産業の担い手育成は大変重要な課題です。農林業は資源とエネルギーを生み出すことのできる産業で、人々の衣食住や生きていくための環境を支える大きな役割を社会から期待されています。ぜひ自信と誇りを持ってこれからの学生生活、研修生生活を送ってほしいと思います。

県内、国内だけでなく日本を取り巻くこれからの世界の状況や地球環境はまさに激動の時代だと言われます。この変化の大きい21世紀を生きぬくために皆さんは、「自分をしっかりと見つめること」「自立した人間になるよう努めること」そして「他人と協調していくこと」が求められます。私からは「共通の価値観で意思疎通ができる」ことと「思いやりと責任感をもって周りの人と関わることができる」ことをお願いしたいと思います。

ここでの学生生活は二年間、研修生活はさらに短い一年間です。担い手養成科の皆さんは、早いうちに将来の目標をしっかりと決め、その目標を達成するためには、何が必要で、何をすれば良いかを考えて、どんなことにもチャレンジしていく前向きな姿勢を常に持ち続けてほしいと思います。

技術研修科の皆さんは来年の今ごろは、自らが実現しようとする農業経営の第一歩を踏み出していることでしょう。明確な目標のもと、新しく農業に挑戦するための知識や技術の習得に積極的に取り組んでいただき、本県農業を支えてくれる即戦力となることを大いに期待しています。

最後にもう一つ、本校の歴代講師陣には「香川が生んだマルチクリエイター」とも称される和田邦坊先生がおられたことが記録されています。和田邦坊先生が手掛けられたデザインはこれまで皆さんが見たことが「一度は必ずある」と言っているほど県内にあふれています。お饅頭の袋やうどん屋さんの箸袋などでも見かけることのできる我が香川農大が誇る先輩講師の残した素晴らしいデザインについてもぜひ一度興味をもってどん欲に前向きに初心を忘れず、大いなる夢と希望を持ってこれからの一日一日を過ごされ、有意義な大学校生活を送られるよう祈念して私の式辞といたします。

御入学、ご入校 誠におめでとうございます。

令和5年4月12日

香川県立農業大学校

校長 仲本孝幸